

張る根を

銀	行
窓	販

ラッセルIG

— 第41回 —
ラッセル・インベストメン
ト・グループは、米系の資産
運用サーピス会社で、「マル
チ・マネージャ―」運用のパ
イオニア。グループ全体の運

用資産額は、約27兆円に上る。また、年金資産コンサルタ
ントとしても、世界ナンバーワンの会社だ。同社の特長で
ある「マルチ・マネージャ―」とは、複数運用会社を組み
合わせて、ポートフォリオを構築するもの。外部の優秀な
ファンド・マネージャ―に運用を再委託するものだ。

同社は、99年7月1日に、三菱東京UFJ銀行専用ファ
ンドとして、「ラッセル日本株式ファンド I」（純資産残
高17億7900万円）、「ラッセル外国株式ファンド I」（
純資産残高 13億4600万円）、「ラッセル世界債券フ
ァンド I」（純資産残高22億7500万円）を設定した
（純資産残高は、すべて11月16日現在）。

また、同社は06年12月に、「ラッセル 日本株式マルチ
・マネージャ―・ファンド」（愛称・匠の輪）と、「ラッセ
ル 外国株式マルチ・マネージャ―・ファンド」（愛称・
ワールド・エキスパート）を設定。扱社は、イーバンク銀
行など、オンライン系金融機関が主だが、「投資家のニー
ズが長期化し、良いファンドを求めています。銀行からも
当社のマルチ・マネージャ―・ファンドへの要請が強くな
っています」と、同社リテール・ビジネス本部長の水野氏
が語るように、今後は既存販売への販売サポートの充実と
ともに、新規販売への営業活動を強化する方針だ。また、
08年初設定を目指して、新しい銀行窓販商品を開発中だと
いう。